

中心静脈ポート留置後の緊急中心静脈ポート造影の施行割合および原因

1. 研究の対象

2014 年 1 月～2021 年 8 月に当院で中心静脈ポート(CV port)を留置された方

2. 研究目的・方法

薬物療法や点滴注入前のチェックでトラブルが生じ、中心静脈ポート(CV port)を施行した割合、原因を後ろ向きに調査し、解析することで、CV port トラブルの発生件数を抑制し、患者さんへの負担を軽減させることを目的とします。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022 年 8 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：CV port の種類、サイズ、素材、疾患、留置後の期間、血液データ、カルテ番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR 科 前田 登

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上